

いたわり

2008年11月号 No94

くすりのキュート健康新聞

くすりの
キュート
の健康
教室

第5回「緑の輝きバズター」 ← 定員一杯になりました！
次回は1月です。

＜日時＞11月19日(水)午前10時～午後3時半
クローエ工場見学 → 自然食バッキング「ティア」

第36回「くすりのキュート植木店 健康茶話会」

＜日時＞11月21日(金)午後1時30分～2時30分
＜場所＞くすりのキュート植木店 店内

第6回「マザーの会」(子育て・育児見・子宝相談会)

＜日時＞12月5日(金)午後2時～3時半
＜場所＞くすりのキュート玉名店 2階 健康教室
＜講師＞むなかた助産院 助産師 賀久はつ先生

《TAO 凱旋公演 2008》

＜日時＞12月16日(火)午後0時出発 午後6時着
＜場所＞福岡サンパレス
＜参加費＞2000円(公演代金6000円は無料) (持ち帰り弁当付)

酸素カプセル体験談

玉名郡在住の83歳の女性Iさんの体験談です。Iさんは女学校(10代)の頃から、かれこれ70年近くも右の耳が聞こえなかったそうです。病院で鼻から管を通したり、様々な治療をしてきても結局聞こえないままでした。心臓病の持病があらわれ、昨年4月に玉名店に「高圧酸素カプセル」を設置したのを機に週1回のペースで酸素に入りに来られるようになりました。半年くらいたったある日、右の耳を何かの拍子にさわったらゴアゴアとした音が聞こえたそうです!! 普通、耳が聞こえる人は、耳に指を入るとゴアゴアと音がしますよね。ところがIさんは70年近くもその音はせず、聞こえなかったのが、聞こえるようになったそうです!! もう、ビックリ!! あく喜ばれてお店で本当にうれしそうに報告して下さいました。今では右から話しかけても普通に会話できるようになりました。高圧状態で休んでいた細かい血管や神経に酸素が溶けこむことにより、70年ぶりの回復ができたのだと思います。



万病の元、血の汚れから生ず

血液の汚れは何かの原因でしょうか? まずは**過食**です。食べ過ぎると、血液中のコレステロールや中性脂肪、糖や様々な老廃物が多くなり血液を汚してしまいます。次に**運動不足**。筋肉の働きが低下すると当然、血液内の栄養分や老廃物の燃焼・排泄が悪くなります。**ストレス**で心に負担がかかるとそれとは別のけように攻撃ホルモン「アドレナリン」がでて血管は縮み血圧は上がり、血糖も上がります。**冷え**や**不眠**も血液を汚す原因です。体温が下がると血管は縮んで血行が悪くなり、血液内の脂肪、糖、老廃物の燃焼が防がれます。冷えは免疫力を低下させ、万病の原因にもなります。

このように血液が汚れてくると体は様々な症状を出して**血液浄化**をしようとします。まずは**発疹**です。湿疹、じんましん、アトピー、ニキビなどは体内の余分な水分と老廃物を皮膚を通して外に捨て、血液を浄化しようとする反応です。西洋医学ではこれを皮膚病と見なして、ステロイド剤などの薬でこの浄化作用を抑えようとしてしまいがち。だから皮膚病は治りにくく、一時的に治ったと見えても再発して長引くことが多いのです。しかし、東洋医学では発疹は血液の汚れに原因があるからその原因となる老廃物を捨てる事で治療します(**漢方薬・バイオンクによる解毒**)。

薬で発疹を抑えている場合や、皮膚から老廃物を出す体がない時は、私達は**バイ菌**の力を借りて炎症を起こし、血液中の老廃物を燃やします。鼻炎、扁桃腺炎、気管支炎、肺炎、膀胱炎などです。バイ菌は汚い所にコロコロしています。バイ菌は地球上の不要物、死体なども燃焼してエサと使命をもって生きているのです。つまりバイ菌が体内に入ってきて炎症を起こすという事は自分の血液が汚れているという事なのです。さらに発熱で食欲をストップさせます。食べ過ぎは血液を汚すからです。

動脈硬化や**高血圧**、**血栓**も血液浄化の反応なのです。血液の汚れをコレステロールや脂肪と共に血管の内側に沈着させて血液の流れを清浄に保とうとします。その結果、血管が細くなり**動脈硬化**が起こる。血管が細くなると、心臓は力を入れて血液を送り出そうとする。これが**高血圧**。これ以上血管を細くするわけにはいけなくなると血液の汚れを1ヶ所に固めて**血栓**を作る。高血圧になっても同じ生活を続けていると汚れは出血して出そうとする。これが**胃がやう痔**、**脳出血**です。

がんも血液の汚れを1ヶ所に固めて浄化しようとする装置と見ることができます。東京でお茶の水クリニックを開いている森下敬一先生は40年前にこの学説を発表されました。「がんも身の内」と言ってもいいです。私達の体は常に良くしようと自然治癒力が働いているのにがんだけが体に有害という事は考えにくいことです。

日常の中で血液の汚れを予防し健康に保つには、まずは**食べ過ぎをせず、腹八分目の小食**を守ることです。**体を常に温めておく事**も大事です。体温が1℃低くなるだけで免疫力は30%以上低下してしまいます。体温を作り出す一番の臓器は筋肉ですから**筋肉運動**を怠らずやる事です。特に筋肉の75%は下半身にありますから、下半身の筋肉をきたえる事です。あとは**感謝の気持ちをもって居る事!!**すべての症状には意味があり、血液の汚れを教えてくれている感謝すべきものであると思えば、回復もきっと早いはずです。